

！ 今回の改正により変更された点

水害・土砂災害からの避難のあり方について、災害対策基本法の改正に基づき、令和3年5月20日から、新たな避難情報が施行されています。その主要な特色は、

- 緊急的に安全確保を促す「緊急安全確保」(警戒レベル5)
 - 避難のタイミングを明確にする「避難指示」(警戒レベル4)
 - 早期の避難を促す「高齢者等避難」(警戒レベル3)
- になります。避難情報をよく知り、大切な命を守りましょう。

警戒レベル **4** ひなんしじ **避難指示で必ず避難**
ひなんかんこく **避難勧告は廃止です**

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	災害発生又は切迫 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	災害のおそれ高い 避難指示 ※2	避難指示(緊急) 避難勧告
3	災害のおそれあり 高齢者等避難 ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで号令されることとなります
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません!

避難勧告は廃止されます。
 これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

防災のススメ

「もしも」に備えを!

■防災対策課 ☎57-8501

警戒レベルが改正されました!

用語のおさらい

【性自認】…自身の性をどう認識するか
 【性的指向】…好きになる性

第4弾

性の多様性を考える

身体の性、こころの性、性的指向などは人それぞれで性のあり方は多様です。多様な性について理解を深め認め合うことができれば自分らしく暮らせる社会の実現へつながります。



カミングアウトとアウティング

性的マイノリティの抱える思い

性的マイノリティの方は、周囲の理解不足や偏見などによりさまざまな困難や悩みを抱え、誰にも打ち明けられず苦しんでいる場合があります。

もし相談を受けたときは、落ち着いて話を聞くことが大切です。

カミングアウト

公にしていない自分の性自認・性的指向(セクシュアリティ)などを他の人に伝えること。

アウティング

本人の同意なく性自認・性的指向を他人(第三者)に伝えること。

アウティングは重大な人権侵害です。自分を信頼して秘密を打ち明けてくれたことの意味を尊重し、決して周囲に漏らしてはいけません!

今日からアライ(Ally)になりませんか?

アライ Ally >> 性的マイノリティに共感し、寄り添い応援する人たちのこと
 英単語で「仲間」や「同盟」の意味

アライとして何か活動や宣言をしなくても…と思う必要はなく、言葉の使い方に気を付けるだけでもアライとしての立派な活動になります。

男らしい or 女らしい
 ↓
 OOさんらしい

こころから ↓ 少しずつ

レズ、ホモなどの俗語
 ↓
 レズビアン、ゲイ

自身の性のあり方・性的マイノリティの知人友人についてなど…不安なこと、悩んでいることがあればご相談ください。

人権課 ☎57-8507 FAX 56-0576

